



# 平成 20年 3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成 19年 7月 26日

上場会社名 住商情報システム株式会社  
 コード番号 9719  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部 康行  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 前川 俊策

上場取引所 東証第一部  
 URL <http://www.scs.co.jp/>  
 TEL:(03)5166-2500

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成 20年 3月期第1四半期の連結業績(平成 19年 4月 1日 ~ 平成 19年 6月 30日)

### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	27,487	△ 3.2	349	—	437	—	176	—
19年3月期第1四半期	28,398	79.8	△ 73	—	3	△ 99.3	△ 41	—
19年3月期	137,344		8,560		8,892		4,377	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	3	32	—	—
19年3月期第1四半期	△ 0	76	—	—
19年3月期	80	91	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20年3月期第1四半期	110,363		89,906		81.2	1,687	32	
19年3月期第1四半期	114,687		93,757		81.3	1,718	64	
19年3月期	116,218		91,254		78.2	1,712	27	

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	5,472		△ 831		△ 801		35,244	
19年3月期第1四半期	1,733		△ 934		△ 709		31,647	
19年3月期	5,989		△ 1,632		△ 4,538		31,412	

## 2. 平成 20年 3月期の連結業績予想(平成 19年 4月 1日 ~ 平成 20年 3月 31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	64,500	0.5	2,600	0.8	2,700	△ 0.4	1,300	△ 2.8	24	49
通期	145,000	5.6	9,350	9.2	9,500	6.8	4,900	11.9	92	29

### 3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[ (注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。 ]

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在における経済動向や市場環境をはじめとした情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

平成20年3月期第1四半期においては、米国経済にかかる不透明感及び原油価格の動向等の懸念材料はあるものの、製造業を中心とする企業収益の改善を背景とした設備投資の継続的な増加、雇用者所得の緩やかな増加状況下での底堅い個人消費の推移などから判断し、日本経済は緩やかな拡大基調を維持したと考えられます。

当業界を取り巻く経営環境としては、金融機関を中心とした旺盛なシステム投資需要、また、一般企業の競争優位性、収益力向上を目指す設備投資の増加を背景に、企業部門においてIT投資が活発に行われる状況にありました。

こうした状況下、当社グループの当第1四半期の連結業績につきましては、金融機関向け案件を中心にITシステム構築需要は好調に推移しました。しかしながら、情報通信向けハードウェア販売の減少等もあり、売上高は前年同期比911百万円減の27,487百万円となりました。利益面では、ソフトウェア受託開発ビジネスにおける個別案件採算の改善、また、プロダクトディストリビューションビジネスにおける収益性の向上により、経常利益は前年同期比433百万円増の437百万円となり、四半期純利益は前年同期比217百万円増の176百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

平成20年3月期第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前期末より3,832百万円増加し、35,244百万円となりました。各キャッシュ・フローの増減状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は5,472百万円となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益508百万円、減価償却費609百万円、売上債権の減少による資金の増加12,758百万円によるものであります。主な減少要因は、たな卸資産の増加による資金の減少2,819百万円、仕入債務の減少による資金の減少3,472百万円、法人税等の支払額2,194百万円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は831百万円となりました。

主な減少要因は、有形固定資産の取得169百万円、ソフトウェア等の無形固定資産の取得258百万円、資本・業務提携等による株式取得508百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は801百万円となりました。

主な減少要因は、平成19年3月期期末配当金(1株当たり15円)の支払796百万円によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は概ね予想の範囲内であり、平成19年4月26日に公表しました中間及び通期の業績予想においても、現状の業績・事業環境等を鑑みた結果、現時点で中間及び通期の業績見通しともに変更はありません。

#### ※当社グループの四半期業績の特性について

我が国では、事業年度を4月から3月までと定めている企業が多いため、システムの導入・検収が年度の節目である9月及び3月に集中する傾向があります。このため、売上高計上基準として「検収基準」を採用している当社グループの業績にも季節的変動があり、売上高、利益とも第2・4四半期に集中する傾向があります。

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません。
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用  
法人税等の計算については、簡便的な方法を採用しております。
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更  
該当事項はありません。

## 5. (要約)四半期連結財務諸表

## (1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

期 別 科 目	前年同四半期末 〔平成19年3月期〕 第1四半期末	当四半期末 〔平成20年3月期〕 第1四半期末	増 減		(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	3,647	3,674	27	0.7	3,542
2. 受取手形及び売掛金	18,030	16,434	△ 1,595	△ 8.9	29,195
3. 有価証券	1,600	700	△ 899	△ 56.2	700
4. たな卸資産	6,950	7,520	569	8.2	4,701
5. その他	34,164	37,800	3,635	10.6	33,303
流動資産合計	64,394	66,131	1,736	2.7	71,443
II 固定資産					
1. 有形固定資産	29,008	28,624	△ 384	△ 1.3	28,819
2. 無形固定資産	3,192	2,891	△ 301	△ 9.4	2,935
3. 投資その他の資産	18,092	12,717	△ 5,375	△ 29.7	13,020
固定資産合計	50,293	44,232	△ 6,060	△ 12.1	44,775
<b>資産合計</b>	<b>114,687</b>	<b>110,363</b>	<b>△ 4,323</b>	<b>△ 3.8</b>	<b>116,218</b>
<b>(負債の部)</b>					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	7,970	9,171	1,200	15.1	12,644
2. その他	10,788	10,755	△ 33	△ 0.3	11,655
流動負債合計	18,759	19,926	1,167	6.2	24,299
II 固定負債					
1. 繰延税金負債	1,679	14	△ 1,665	△ 99.2	135
2. 退職給付引当金	212	210	△ 2	△ 1.2	215
3. 役員退職慰労引当金	136	140	4	3.2	173
4. その他	142	164	22	15.6	139
固定負債合計	2,171	529	△ 1,641	△ 75.6	664
<b>負債合計</b>	<b>20,930</b>	<b>20,456</b>	<b>△ 473</b>	<b>△ 2.3</b>	<b>24,964</b>
<b>(純資産の部)</b>					
I 株主資本					
1. 資本金	21,152	21,152	-	-	21,152
2. 資本剰余金	31,299	31,299	-	-	31,299
3. 利益剰余金	36,682	39,775	3,093	8.4	40,395
4. 自己株式	△ 196	△ 3,184	△ 2,988	-	△ 3,183
株主資本合計	88,938	89,043	105	0.1	89,665
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	4,363	588	△ 3,774	△ 86.5	1,284
2. 繰延ヘッジ損益	-	1	1	-	1
3. 為替換算調整勘定	△ 87	△ 50	37	42.5	△ 42
評価・換算差額等合計	4,275	539	△ 3,735	△ 87.4	1,243
III 少数株主持分	542	323	△ 219	△ 40.5	344
<b>純資産合計</b>	<b>93,757</b>	<b>89,906</b>	<b>△ 3,850</b>	<b>△ 4.1</b>	<b>91,254</b>
<b>負債、純資産合計</b>	<b>114,687</b>	<b>110,363</b>	<b>△ 4,323</b>	<b>△ 3.8</b>	<b>116,218</b>

## (2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	期 別	前年同四半期	当四半期	増 減		(参考)前期
		〔平成19年3月期〕 第1四半期	〔平成20年3月期〕 第1四半期	金 額	増減率	(平成19年3月期) 金 額
I	売 上 高	28,398	27,487	△ 911	△ 3.2	137,344
II	売 上 原 価	22,776	21,640	△ 1,135	△ 5.0	106,648
	売 上 総 利 益	5,622	5,847	224	4.0	30,696
III	販売費及び一般管理費	5,695	5,497	△ 197	△ 3.5	22,136
	営 業 利 益	△ 73	349	422	-	8,560
IV	営 業 外 収 益	87	108	21	24.4	393
V	営 業 外 費 用	10	20	10	96.3	61
	経 常 利 益	3	437	433	-	8,892
VI	特 別 利 益	0	281	280	-	71
	1. 投資有価証券売却益	-	72	72	-	32
	2. 事業譲渡益	-	200	200	-	-
	3. その他	0	9	8	-	39
VII	特 別 損 失	3	210	206	-	1,016
	1. 投資有価証券評価損	-	205	205	-	100
	2. その他	3	4	1	31.3	916
	税金等調整前四半期 (当期)純利益	0	508	507	-	7,947
	税 金 費 用	10	350	339	-	3,477
	少 数 株 主 利 益	31	△ 17	△ 49	-	92
	四半期(当期)純利益	△ 41	176	217	-	4,377

## (3) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第1四半期	当四半期 〔平成20年3月期〕 第1四半期	(参考)前期 (平成19年3月期)
		金 額	金 額	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税金等調整前四半期(当期)純利益		0	508	7,947
減価償却費		532	609	2,307
売上債権の増減額(増加:△)		11,809	12,758	702
たな卸資産の増減額(増加:△)		△ 1,190	△ 2,819	1,059
仕入債務の増減額(減少:△)		△ 6,857	△ 3,472	△ 2,188
取締役賞与の支払額		△ 22	△ 93	△ 22
その他		△ 611	71	△ 1,228
小 計		<b>3,660</b>	<b>7,562</b>	<b>8,578</b>
支払利息及び受取利息・配当金		43	104	189
法人税等の支払額		△ 1,970	△ 2,194	△ 2,777
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>1,733</b>	<b>5,472</b>	<b>5,989</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
有価証券の売却・償還による収入		300	—	1,900
有形固定資産の取得による支出		△ 169	△ 169	△ 1,138
無形固定資産の取得による支出		△ 475	△ 258	△ 1,261
投資有価証券の取得による支出		△ 577	△ 508	△ 697
その他		△ 11	104	△ 434
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>△ 934</b>	<b>△ 831</b>	<b>△ 1,632</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
配当金の支払額		△ 705	△ 796	△ 1,410
その他		△ 4	△ 5	△ 3,128
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>△ 709</b>	<b>△ 801</b>	<b>△ 4,538</b>
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>		<b>△ 0</b>	<b>△ 6</b>	<b>34</b>
<b>V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)</b>		<b>89</b>	<b>3,832</b>	<b>△ 146</b>
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>		<b>31,558</b>	<b>31,412</b>	<b>31,558</b>
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高</b>		<b>31,647</b>	<b>35,244</b>	<b>31,412</b>